

平成二十六年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一 部



注 意

- 1 問題は、**一**から**四**まであり、7ページまで印刷しております。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」と示されているものについては、問い合わせで指示されている記号で答えなさい。
- 4 問いのうち、字数が指示されているものについては、句読点や符号も字数に含めて答えなさい。

一 次の間に答えなさい。

問一 (1)～(4)の——線部の読みを書きなさい。

- (1) 友人と公園で遊ぶ。
- (2) クラスで討論をする。
- (3) 郵便物を届ける。
- (4) 新しい学説を唱える。

問一 (1)～(4)の——線部を漢字で書きなさい。

- (1) 琴は日本の伝統的ながつきだ。
- (2) 競技場の使用がきよかされる。
- (3) 野菜をこまかく刻む。
- (4) ベランダで朝顔をそだてる。

問二 次の文の

□

に当てはまるように、「買う」という動詞を活用させて書きなさい。

荷物が増えるので、大きなお土産はできるだけ

□

ないように心がける。

問四 次は、俳句について説明した文章です。これを読んで、(1)、(2)に答えなさい。

遠山に日のあたりたる枯野かな
高浜 虚子

俳句は、①の定型で、この俳句の「枯野」のように季節を表す②をよみこむことが基本です。
また、余韻や感動を表現する方法として、この俳句の「③」のように切れ字を用いることがあります。

(1) □①、②に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、ア～カから選びなさい。

- | | | | | | |
|----|---------------------------|--------|---|--------------|--------|
| ア | 〔① 五・七・五 | 〔② 掛詞〕 | イ | 〔① 五・七・五・七・七 | 〔② 掛詞〕 |
| ウ | 〔① 五・七・五 | 〔② 対句〕 | エ | 〔① 五・七・五・七・七 | 〔② 対句〕 |
| オ | 〔① 五・七・五 | 〔② 季語〕 | カ | 〔① 五・七・五・七・七 | 〔② 季語〕 |
| 〔③ | に当てはまる語句を、俳句から二字で書き抜きなさい。 | | | | |

問五 次の文の——線部を、謙譲語を使って敬意を高める表現に書きなさい。

クラス会への出欠について、先生から返事をもらつ。

問六 次の文章を読んで、(1)、(2)に答えなさい。

(1) —線1 「泣きたいのをこらえて」とあります、遠浅が泣きたくなつた理由を、次のようにまとめるとき、に当てはまる表現を、五字以内で書きなさい。

いちごがまだ見つからぬうちに、麻里子が一人でとしているから。

(2) —線2 「やぶの向こうが、明るく光っていた」とありますが、明るく光るやぶの向こうを早く確かめたいと思う遠浅の気持ちが、最も強く行動に表れている一文の、最初の五字を書きなさい。

二 次の問いに答えなさい。

問一 (1)、(2)の文の□に、それぞれの読みの漢字一字を入れ、四字熟語を完成させなさい。

- (1) 難題を、一□両□に解決する。
(2) 心□一□して、科学者を目指す。

問一 (1)、(2)の文から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ書き抜き、同じ読みの正しい漢字を書きなさい。

- (1) 当日券を購入する際は、誘導に従つて列に並んでください。
(2) 黄色は明るく目だつ色なので、道路標式によく使われます。

問三 次は、ある中学生が、美術館の学芸員にインタビューを行うために準備した質問メモ(A)と、実際のインタビューの場面(B)です。これを読んで、(1)～(3)に答えなさい。

(A) 質問メモ

ア 最も印象的だった展覧会	イ 学芸員の主な仕事内容
ウ 一日当たりの来館者数	エ 来館者が作品に親しめるような取り組み
オ 学芸員を志した理由	カ 学芸員を目指す人へのアドバイス

(B) インタビューの場面

(中学生) 今日は、インタビューを受けてくださいまして、ありがとうございます。

よろしくお願ひします。

(学芸員) こちらこそ、よろしくお願ひします。

(中学生) こちらの美術館の学芸員のみなさんは、主にどのような仕事をしているのですか。

(学芸員) はい。私たちは、美術作品を展示したり管理したりするほか、来館者に作

品や作者などについての解説もしています。

(中学生) あなたは、どうして学芸員という仕事を選んだのですか。

(学芸員) 中学生の時に、ある美術館で見た絵が好きになり、将来は美術に関わる仕事につきたいと思うようになったことがきっかけです。その後、兄が私に、

学芸員について書かれた本を貸してくれました。その本からも大きな影響を受けました。

(中学生) そうですか。私も絵が好きなので、こちらの美術館には何度も来ています。

(学芸員) それはありがとう。何度も来てくれているのですね。その中で一番印象に

残った展覧会は何ですか。

(中学生) はい。江戸時代の浮世絵の展覧会です。たくさんの人でぎわっていました。ところで、こちらの美術館を訪れる人たちは、一日にどのくらいいるのですか。

(学芸員) 日によって違いますが、平均すると、一日に約八十名の方がいらっしゃいます。

(中学生) たくさんいらっしゃるのですね。その人たちが作品に親しむことができるよう、どのようなことを行っているのですか。

(学芸員) そうですね。まず、作品の展示方法を工夫しています。また、作品を見ながら解説が聞ける音声ガイドを貸し出すなど、作品の紹介方法を工夫しています。

(中学生) そういうふた取り組みによって、多くの人たちが、より作品に親しめるようになっているのですね。今日はどうもありがとうございました。

(1) (A) の質問メモのア～カのうち、この中学生が (B) のインタビューの場面で質問していないものを、二つ選びなさい。

(2) (B) のインタビューの場面の一線「兄が私に……貸してくれました。」を、文の内容を変えないように、「私は」で始まる一文に書きなさい。

(3) 次は、(B) のインタビューの場面の□で囲んだ部分の内容を、クラスで発表するために作った原稿です。□に当てはまる表現を、十五字以内で書きなさい。

私が今回訪れた美術館では、来館者が作品に親しむことができるようになります。

次の文章を読んで、問い合わせに答えなさい。

問一 — 線「もし」は、どの文節を修飾していますか、ア～エから一つ選びなさい。

ア 堅くて イ 分解するなら ウ まわりに エ いる

問二 — 線1 「種子は、生きて……しなければならない」とあります。乾燥した地域に生きる植物の種子がこのようにしなければならない理由を、次のようにまとめるとき、□に当てはまる最も適当な表現を、文中から五字以上、十字以内で書き抜きなさい。

移動できない植物が乾燥した地域で枯死しないために、□の存在を見きわめる必要があるから。

問三 — 線2 「発芽したあとも水がある」ことを、種子たちが知るためのしくみ」とあります。このしくみでは、どのようなときに種子は発芽すると筆者は述べていますか、二つ書きなさい。ただし、いずれも「種皮」という語を使い、三十字程度で書くこと。

問四 — 線3 「同じ年に……有利に働く」とありますが、発芽する時期が異なると、どうして種族の存続に有利になるのですか、五十字程度で書きなさい。

A、Bはいずれも、初心者が和歌を詠む際の心得について、筆者が自分の考えを述べた文章です。

A 得たる者の歌は、何事をいひ出でたるも、一ふしの興ありておもしろきなり。初心の者これをみて、心にうらやましく思ひて、詠み似せんとすれば、無心所着の何とも無くほれたることを詠み出だすなり。これは何をあそばし候ぞと人が尋ねれば、我もしらずといひて、たゞことを詠むなり。よくよく慎しむべき事なり。

B 初心の程は、無尽に稽古すべきなり。一夜百首、一日千首などのはや歌をも詠みたり。又五首、二首を、五日、六日に案する事もあるべきなり。かやうにかけ足を出でたる歌をも詠み、手綱をひかふる歌をも詠みつれば、延促自在になりて、上手にもなるべきなり。

(注) 得たる者——和歌を詠むことが上手な人。

一ふしの興ありて——どこか優れたところがあつて。

無心所着——意味が通じないこと。ほれたること——ほんやりしたこと。

五首、二首——ここでは、「数首の和歌」のこと。

延促自在になりて——自分の思うままに歌が詠めるようになつて。

(正徹「正徹物語」による)

問一 ～線ア～工のうち、現代仮名遣いで書き表しても、仮名遣いが変わらないものを、一つ選びなさい。

問二 Aの文章には、「初心の者」の発言があります。その部分を書き抜きなさい。

問三 AとBの文章のどちらの内容にも合わないものを、ア～工から一つ選びなさい。

ア 初心者のうちは、上手に和歌が詠めるようになるために、ひたすら和歌を詠む練習をすることが大切である。

イ 初心者が、和歌の上手な人をまねて詠んでも、意味の通じない和歌になつてしまふので、気をつけるべきである。

ウ 初心者は、和歌を早くたくさん詠んだり、じっくり考えて詠んだりすることで、自在に和歌が詠めるようになる。

エ 初心者が、趣のある和歌を詠めるようになるためには、和歌の上手な人にあこがれて、その和歌をまねる必要がある。

第一部 国語

正 答 表